

MAGNIA Storage Server

システム構成ガイド

MAGNIA C1300a/WS

[2014.4]



- ◆記載されている価格は5%の税込み表示です。据付調整費、使用済み商品のお引き取り費は含まれておりません。
- ◆本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず製品添付の取扱説明書をよくお読みください。
- ◆本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

スペック表

■ 製品概要

- 店舗や小規模オフィスなどの拠点設置に最適なコンパクトストレージサーバー

■ 製品特長

- 縦置き、横置き、どちらも可能な省スペースコンパクト設計
- Microsoft® Windows® Storage Server 2008 R2 Workgroupをプレインストール
- 環境へ配慮し、騒音と消費電力の低減対策を実施
- インテル® Pentium® プロセッサーG620を搭載



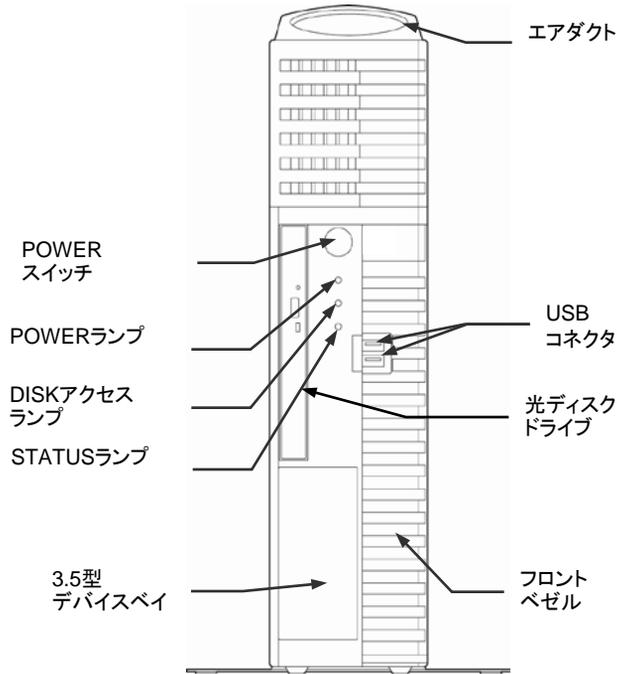
製品名称		MAGNIA C1300a		
形名		WS		
形番		SYU4510C		
CPU	搭載 CPU	インテル® Pentium® プロセッサー G620		
	動作周波数	2.60GHz		
	標準搭載数/最大搭載数	1/1		
	インテル®スマート・キャッシュ(ラスト・レベル・キャッシュ)	3MB		
	コア数(C)/スレッド数(T)(1CPU)	2C/2T		
	コントローラー・ハブとの接続	DMI2 (4GB/s)		
	インテル®バーチャライゼーション・テクノロジー	対応		
	インテル®ハイパー・スレッディング・テクノロジー	-		
インテル®ターボ・ブースト・テクノロジー	-			
チップセット		インテル® C204 チップセット		
メモリ	搭載容量 標準/最大	標準搭載なし (組み込み必須オプション) / 32GB (4x 8GB)		
	搭載メモリ	DDR3-1333 SDRAM DIMM, Unbuffered		
	最大動作周波数	1066MHz		
	誤り検出・訂正	ECC		
	メモリスベアリング	-		
	メモリミラーリング	-		
補助記憶装置	ドライブベイ	内蔵標準	標準搭載なし (組み込み必須オプション)	
		内蔵最大	3.5 型 HDD: SATA 4TB (2x 2TB)	
		ホットプラグ	-	
	インターフェース規格と RAID 構成		SATA 3Gb/s, オンボード RAID: RAID 0/1	
	光ディスクドライブ		標準: DVD-ROMドライブ, オプション: DVD-RAMドライブ(DVD-ROMと排他搭載)	
	FDD		オプション: フラッシュ FDD (1.44MB)	
デバイスベイ		1x 3.5 型デバイスベイ		
拡張スロット	対応スロット	1x PCI Express 2.0 (x16 レーン, x16 ソケット) + 2x PCI Express 2.0 (x4 レーン, x8 ソケット) + 1x PCI (32bit/33MHz) (ロープロファイル, 167.7mm サイズ)		
グラフィック	搭載チップ/ビデオ RAM	マネージメントコントローラーチップ内蔵 / 32MB		
	グラフィック表示と解像度	1677 万色: 640x480, 800x600, 1,024x768, 1,280x1,024		
標準インターフェース		1x アナログ RGB(ミニ D-Sub15ピン, 1x 背面), 1x シリアルポート(RS-232C 規格準拠/D-Sub9ピン, シリアルポート A, 1x 背面, オプションで計 2 ポートに増設可), 8x USB2.0(2x 前面, 4x 背面, 2x 内部) 2x 1000BASE-T LAN コネクタ(1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 対応, RJ-45, 2x 背面) 1x マネージメント用 LAN コネクタ(100BASE-TX/10BASE-T 対応, RJ-45, 1x 背面)		
キーボード・マウス		標準添付		
冗長電源		-		
冗長ファン		-		
外形寸法(幅×奥行き×高さ)		93.0mm x 386.5mm x 363.0mm (エアダクト・スタビライザー・突起物含まず) 190.0mm x 396.5mm x 386.5mm (エアダクト・スタビライザー・突起物含む)		
質量(標準/最大)		9kg/12kg		
電源		1x 250W 80 PLUS Silver 取得電源(二極並行アース付きコンセント) (ホットプラグ不可) AC100V/200V±10%、50/60Hz±3Hz (AC100V 用電源ケーブル 1本を添付)		
消費電力(100V最大構成時、待機時)		78VA/75W		
消費電力(100V最大構成時、高負荷時)		118VA/117W		
省エネ法(2011年度基準)に基づくエネルギー消費効率		0.602W/GTOPS(I 区分)		
音量	音圧レベル(100V最大構成時、高負荷時)	30.9dB		
温度/湿度条件		動作時: 10~40°C / 20~80% (ただし結露しないこと) 保管時: -10~55°C / 20~80% (ただし結露しないこと)		
主な添付品		EXPRESSBUILDER, MAGNIA R1310a/C1300a WSS08R2 WGP RECOVERY DVD-ROM スタートアップガイド, MAGNIA Storage Server セットアップガイド(Workgroup モデル), 保証書 AC100V 用電源ケーブル(ケーブル長:3.0m), キーボード(ケーブル長:1.8m), マウス(ケーブル長:1.8m)		
対応 OS	Windows	Microsoft® Windows® Storage Server 2008 R2 Workgroup		

補足事項

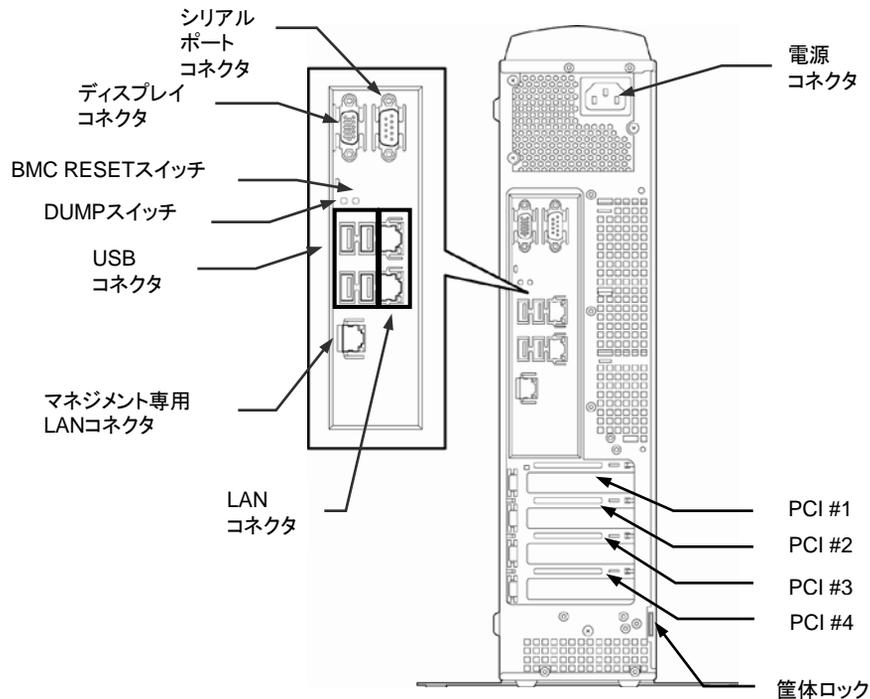
- ◆ スペック制限および接続制限などについては次項以降のシステム構成ガイドを参照願います。

外観図

①正面図



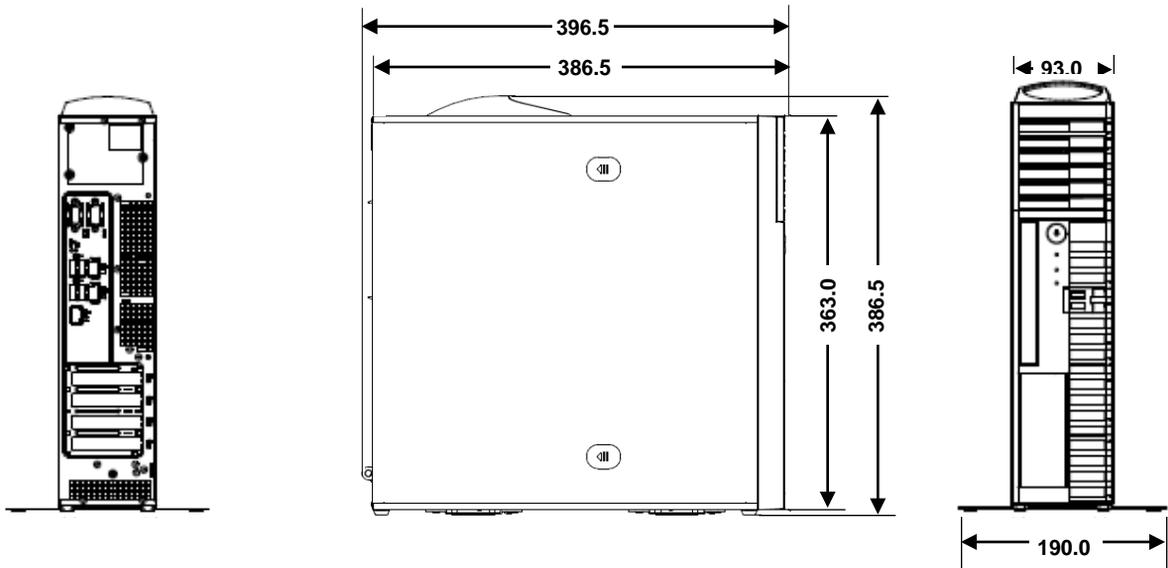
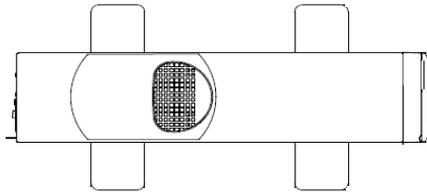
②背面図



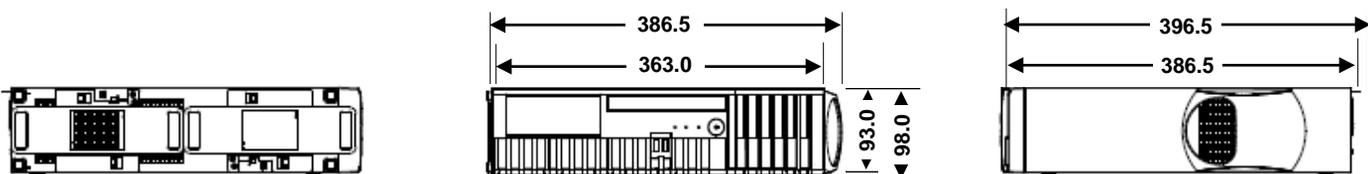
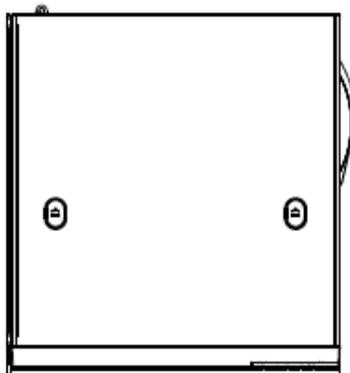
三面図

三面図

(1)縦置き



(2)横置き

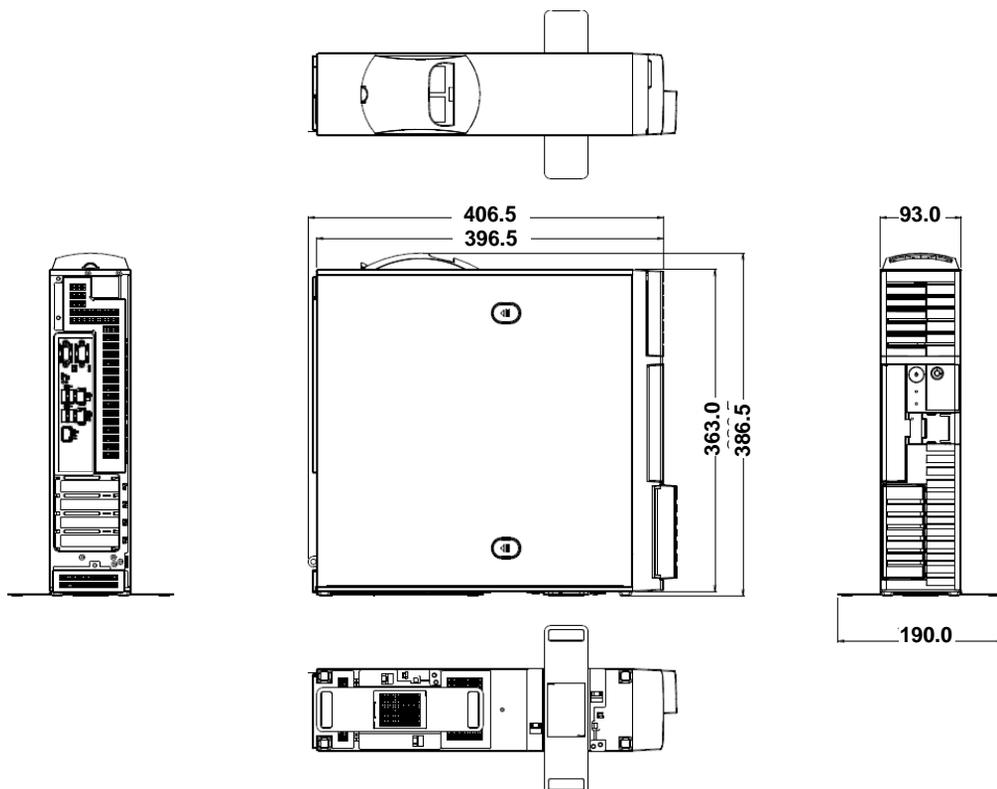


三面図

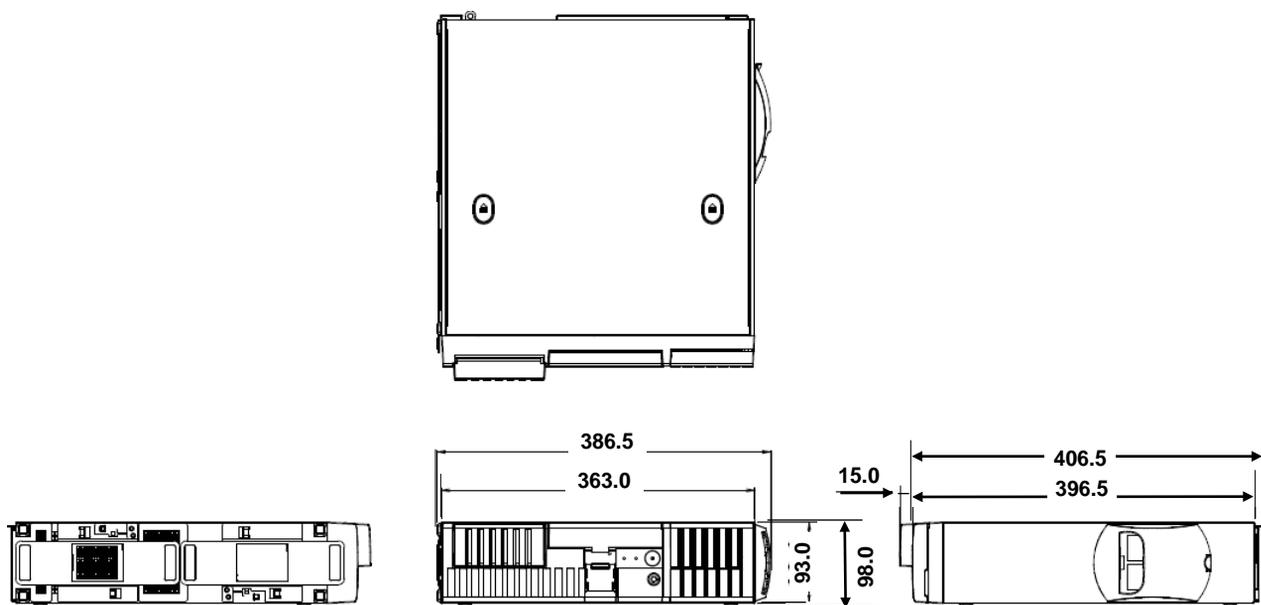
三面図(防塵ベゼル実装時)

(1)縦置き

単位: mm

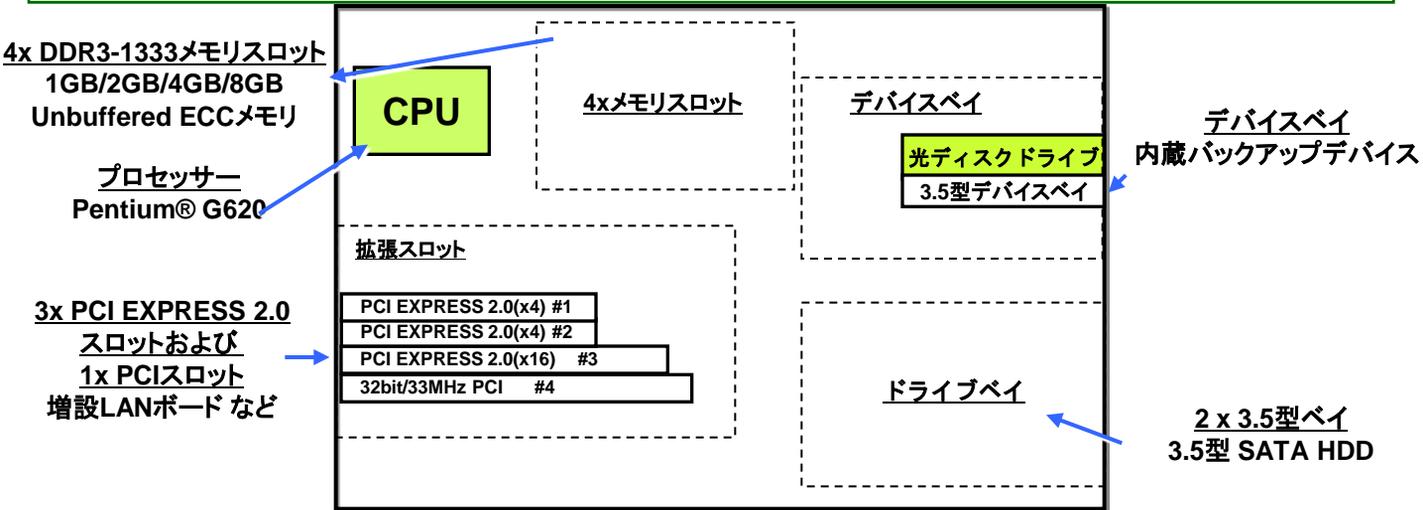


(2)横置き



クイック構築シート

※OS対応状況および接続、スペックに関する制限事項については、次項以降の構成図を参照願います。



※手配上の注意事項

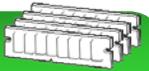
出荷時に内蔵バックアップ装置または各種増設用オプションをサーバー本体に内蔵(BTO組込指示)する場合、後述の<内蔵ドライブ>のいずれかの構成を選択する必要があります。

本体

形番	製品名称	形名	CPU (C:コア数, T:スレッド数[CPUあたり])	構成	税込価格
SYU4510C	MAGNIA C1300a	MAGNIA C1300a/WS	1x Pentium G620 (2.60GHz, 2C/2T)	メモリスレス* ディスクレス* OS付 (*はBTO必須選択)	199,500円

構成ガイド <メモリ / 光ディスクドライブ / フラッシュFDD>

メモリ [標準 0 / 最大4]



▶ 1GBメモリユニット (1x 1GB)	[MER3801A]	5,250円
▶ 2GBメモリユニット (1x 2GB)	[MER3802A]	9,450円
▶ 4GBメモリユニット (1x 4GB)	[MER3803A]	35,700円
▶ 8GBメモリユニット (1x 8GB)	[MER3804A]	71,400円
※BTO組込専用オプション 単体手配不可		

▶ 1GBメモリユニット (1x 1GB)	[MMU3801A]	7,350円
▶ 2GBメモリユニット (1x 2GB)	[MMU3802A]	11,550円
▶ 4GBメモリユニット (1x 4GB)	[MMU3803A]	40,950円
▶ 8GBメモリユニット (1x 8GB)	[MMU3804A]	102,900円
※単体手配専用オプション		

◆ 補足事項

- ◆ 最低1枚のメモリを手配してください。
- ◆ 最大4枚(最大32GB)まで搭載できます。
- ◆ 1枚単位で増設できますが、同一製品型名のメモリを2枚単位での実装を推奨します(2wayインターリーブ動作となります)。
- ◆ 容量の異なるメモリを混在する場合、容量の大きいメモリからスロット番号の小さい順に搭載してください。
- ◆ メモリはDDR3-1333(PC3-10600)のUnbufferedタイプ、ECC付きメモリですが、Pentium G620搭載のため1066MHzとして動作します。

光ディスクドライブ (専用ベイに搭載)

光ディスクドライブ (最大1台搭載 同時使用不可)

▶ DVD-ROM装置	標準搭載	
▶ DVD-RAM装置	[ODR1121A]	30,450円

◆ 補足事項

- ◆ ケーブルは本体内蔵品を使用します。
- ◆ ODR1121Aは本体同時購入用です。

フラッシュFDD (USBポートに接続)

▶ フラッシュFDD	(USB接続)	[FDU3901A]	12,600円
◆ 容量1.44MB			

◆ 補足事項

- ◆ 標準でFDDは搭載されていません。必要に応じて手配してください。フラッシュFDDの詳細および主な用途については、フラッシュFDD補足事項を参照してください。
- ◆ フラッシュFDD複数個の同時利用は不可です。
- ◆ 本サーバーはUSBポートを前面に2つ、背面に4つ装備しています。

構成ガイド <LAN>

LAN (PCIスロットに接続)



1Gbps イーサネット

▶ LANカード1000(2ch)
(PCI-EXPRESS(x4))

[BCP3506A] 40,950円

LANケーブル

スイッチ,
サーバー
など

◆ 補足事項

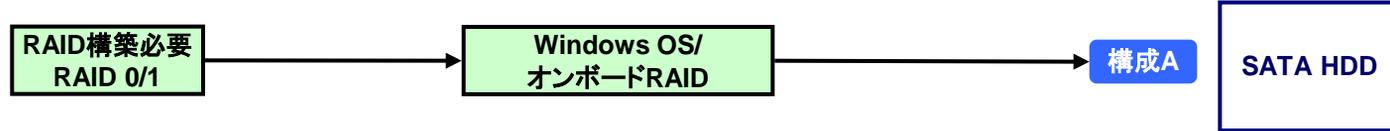
- ◆ 標準で2ポートの1000BASE-T LANインターフェースを装備しています。
- ◆ 本サーバーはPCIスロットを4つ装備しています。それぞれの搭載枚数や混在制限については末尾の「搭載可能スロット一覧」を参照してください。

構成ガイド <内蔵ドライブ>

RAID構築の選択

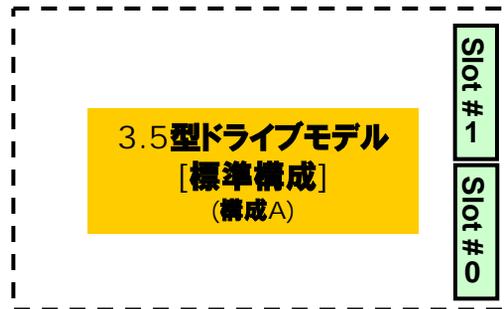
いずれかの構成を選択できます (構成の混在は不可)

利用可能な
ドライブ



◆ 補足事項

- ◆ 構成AはオンボードチップのSATAコントローラーを利用します。
- ◆ HDDの詳細事項につきましては、内蔵ドライブ補足事項を参照してください。



構成A. オンボードRAID利用 (オンボードSATAコネクタに接続、ホットプラグ不可)

接続台数: 2台 (ホットプラグ不可)



構成A用 SATA HDD

SATA HDD (組込出荷専用, 3.5型)

- ▶ SATA 500GB磁気ディスク 7,200rpm [HDR3802A] 23,100円
- ▶ SATA 1TB磁気ディスク 7,200rpm [HDR3803A] 36,750円
- ▶ SATA 2TB磁気ディスク 7,200rpm [HDR3804A] 57,750円

※BTO組込専用オプション 単体手配不可

◆ 補足事項

- ◆ 必ず同じHDDを2台選択してください。

構成ガイド <内蔵バックアップ, シリアルポート拡張>

USB接続デバイス (デバイスベイと内部USBインターフェースに接続)

▶ USB内部ケーブル	[CBL3617A]	3,150円
-------------	------------	--------

▶ カセット磁気テープ装置(USB) (DDS3/4/DAT72) (36GB)	[CMT3611A]	108,150円
◆ DDS1/DDS2は使用不可		

RDX

▶ USB内部ケーブル	[CBL3617A]	3,150円
-------------	------------	--------

▶ リムーバブルディスク装置(USB)	[SRD3011A]	39,900円
◆ 内蔵RDX		

◆ 補足事項

- ◆ バックアップ装置添付のUSBケーブルは使用できません。必ずUSB内部ケーブル CBL3617Aの手配が必要です。

シリアルポート拡張 (キットをPCIスロットに接続)

▶ RS-232C内部ケーブル	[CBR3601A]	10,500円
-----------------	------------	---------

◆ 補足事項

- ◆ 本キットをPCIスロットに接続することにより、シリアルポートB(RS-232Cインターフェース)を1ポート追加することができます(最大1枚まで搭載できます。)

構成ガイド <外付バックアップ>

外付バックアップ装置(外部USBインターフェースに接続)

▶ リムーバブルディスク装置(USB)	[SRD3012A]	71,400円
◆ 外付RDX		
◆ USBケーブル添付		

◆ 補足事項

- ◆ 外付バックアップ装置の接続については「外付オプション」の構成ガイドを参照下さい。

構成ガイド < ディスプレイ / キーボード / マウス, その他 >

ディスプレイ (アナログRGBコネクタに接続)



▶ TFT液晶ディスプレイ17型-K [IPCD126A3] オープン価格

◆ 補足事項

- ◆ 本体に標準添付されていないので、必要に応じて手配してください。
- ◆ デジタルプロダクツ&サービス第一事業部の製品です。

キーボード (USBインターフェースに接続)



▶ キーボード 標準添付

- ◆ USBインターフェース、109型 Windows配列
- ◆ ケーブル長 1.8m
- ◆ KBU1114A相当

◆ キーボード(ラックマウント用) [KBU1112A] 15,750円

- ◆ USBインターフェース、Windows配列

マウス (USBインターフェースに接続)



▶ マウス 標準添付

- ◆ USBインターフェース、2ボタン、光学式、ホイール付
- ◆ ケーブル長1.8m
- ◆ KBU1115A相当

防塵ベゼル

▶ 防塵ベゼル [ACS4021A] 19,425円

- ◆ 本体標準添付のフロントベゼルと交換して使用
- ◆ 防塵フィルター 1枚装着済

◆ 補足事項

- ◆ 防塵ベゼル実装時の本体外形寸法は以下となります。
93.0 mm x 396.5 mm x 363.0 mm (幅x奥行x高さ、突起物含まず)
190.0 mm x 421.5 mm x 386.5 mm (幅x奥行x高さ、突起物含む)

防塵フィルター (防塵ベゼルに装着)

▶ 1Wayスリムタワー用防塵フィルター(5枚) [ACS4023A] 19,740円

- ◆ 防塵ベゼル[ACS4021A]に装着して使用 (標準のフロントベゼルに装着不可)

交換の目安: 6か月ごと (ただし使用環境により期間は前後します)

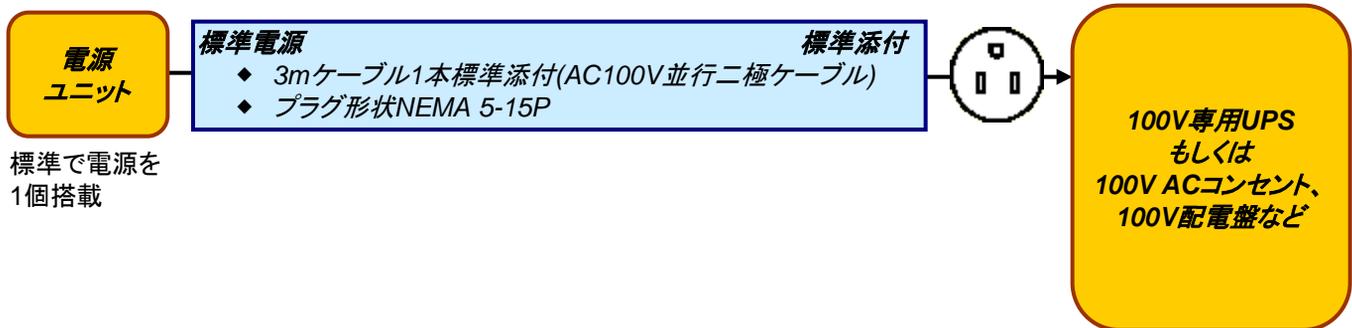
◆ 補足事項

- ◆ BTO組み込み出荷は不可となります。

構成ガイド <電源ユニット>

電源ユニット / 電源コード

AC100V接続



AC200V接続



ACマルチタップ

▶ ACマルチタップ(100V)	[ACS4011A]	6,300円
◆ アウトレット: 4x NEMA 5-15R		
◆ インレット: 1x NEMA 5-15P		
◆ 給電最大: 15A		
▶ ACマルチタップ(200V)	[ACS4008A]	63,000円
◆ アウトレット: 8x NEMA L6-15R		
◆ インレット: 1x NEMA L6-30P		
◆ 給電最大: 30A		

◆ 補足事項

- ◆ ACマルチタップは必要に応じて、手配してください。

構成ガイド <UPS接続>

100V UPS (無停電電源装置) (シリアルポートを利用した接続)



100V接続

- ▶ 無停電電源装置 (500VA) [UPS3511A] 51,450円
- ◆ PowerChute Business Edition Basic v9.0.1 / UPSケーブル標準添付

本体へ接続
(シリアルポート)

- ▶ ESMPRO/UPSManager Ver2.6 CoreKit [ACS4047A] 21,735円

- ◆ Windows用
- ◆ 本製品を追加することで「PowerChute Business Edition」に統合監視機能が追加されます

100V接続

- ▶ 無停電電源装置 (750VA) [UPS3512A] 51,450円
- ▶ 無停電電源装置 (1000VA) [UPS3513A] 68,250円
- ▶ 無停電電源装置 (1500VA) [UPS3514A] 97,650円

1台目のサーバーを接続する場合

本体へ接続
(シリアルポート)

専用の管理ソフトウェアを利用

- ▶ ESMPRO/UPSManager Ver2.6 (PowerChute Business Editionセット) [ACS4039A] 46,095円
 - ◆ Windows用
 - ◆ PowerChute Business Edition Basic v9.0.1/UPSケーブル標準添付(1.8m)
- ▶ PowerChute Business Edition Basic v9.0.1 [ACS4038A] 23,730円
 - ◆ Windows/Linux用
 - ◆ UPSケーブル標準添付(1.8m)

2台目以降のサーバーを接続する場合

- ▶ UPSエキスパンダー [UPS3522A] 18,900円

- ▶ UPSケーブル [UPS3527A] 6,300円

他の本体へ接続
(シリアルポート)

◆ 補足事項

- ◆ 仮想環境でUPSを使用する場合は、UPSネットワークカードを利用したLAN経由のUPS接続が必須となりますので、LAN経由の接続を参照してください。
- ◆ 2台目以降のサーバーを接続する場合の注意事項やUPS制御のより詳細な情報は、「UPS(無停電電源装置)の接続」やソフトウェア構成ガイドのESMPRO/UPSManager、ESMPRO/AutomaticRunningController」の項目を参照してください。
- ◆ リモートコンソール機能の一部機能ではLAN経由での利用時にオプションのシリアルポートのバスを利用。UPS併用時は「RS232C内部ケーブル」を使用することはできません。対象機能は「サーバーマネージメント」の項目を参照。

構成ガイド <UPS接続>

100V UPS (無停電電源装置) (LAN経由の接続)



100V接続

▶ 無停電電源装置 (750VA)	[UPS3512A]	51,450円
▶ 無停電電源装置 (1000VA)	[UPS3513A]	68,250円
▶ 無停電電源装置 (1500VA)	[UPS3514A]	97,650円

▶ UPSネットワークカード [UPS3523A] 55,650円

本体へ接続
(LANポート)

サーバー/UPSを複数台接続する場合

管理ソフトウェア(制御サーバー用)

◆ Windows用

- ▶ ESMPRO/AutomaticRunningController Ver4.1 [ACS4041A] 22,640円
- ▶ ESMPRO/AC Enterprise Ver4.1 [ACS4042A] 30,345円
- ▶ ESMPRO/AutomaticRunningController CD 1.1 [ACS4040A] 15,120円

管理ソフトウェア(連動サーバー用) … 連動サーバー台数分のライセンスが必要

◆ Windows用

- ▶ ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション Ver4.0 1ライセンス [ACS4045A] 38,325円

◆ 補足事項

- ◆ 仮想環境でUPSを使用する場合は、UPSネットワークカードを利用したLAN経由のUPS接続が必須となります。
- ◆ UPS制御のより詳細な情報は、「UPS(無停電電源装置)の接続」やソフトウェア構成ガイドのESMPRO/UPSManager、ESMPRO/AutomaticRunningController」の項目を参照してください。
- ◆ リモートコンソール機能の一部機能ではLAN経由での利用時にオプションのシリアルポートのバスを利用。UPS併用時は「RS232C内部ケーブル」を使用することはできません。対象機能は「サーバー管理」の項目を参照。

構成ガイド <サーバーマネージメント (EXPRESSSCOPEエンジン 3)>

▶ EXPRESSSCOPEエンジン 3

本体標準搭載

- ◆ リモートマネージメント専用の管理用LANポートを1ポート搭載(100BASE-TX, 10BASE-T対応)

拡張ライセンス

▶ リモート管理拡張ライセンス

[ACS4016A] 50,400円

- ◆ 1サーバー分ライセンス
- ◆ OSに依存することなく、リモートコンソール、リモートメディアが利用可能となります
- ◆ リモートコンソール機能
 - ◆ リモート端末のWebブラウザへ、グラフィックコンソールを表示
 - ◆ リモート端末のWebブラウザから、キーボード/マウスを操作
- ◆ リモートメディア機能
 - ◆ リモート端末にセットされたCD/DVDメディア、FD、フラッシュをサーバーのローカルデバイスとして利用

◇ 機能一覧

- ◆ OSや稼働状況に依存せず利用できる機能となります (一部除く)

		EXPRESSSCOPE エンジン 3 (標準)	EXPRESSSCOPE エンジン 3 (拡張ライセンス 適用時)
サーバー監視機能	温度/HDD/ファン/電圧/電力監視、 縮退監視機能(メモリ/HDDなど)	○	○
	ハードウェア構成情報採取	○	○
	ハードウェアログ情報採取	○	○
ストール監視/ 自動再起動機能	POST/BIOSストール監視、ブート監視、 OSストール監視、シャットダウン監視	○	○
通報機能	ハードウェア異常、ブート異常、OSパニック通知 (LAN経由(SNMP、E-Mail))	○	○
リモート コンソール機能 (LAN経由)	POST/BIOSセットアップ、DOSユーティリティ	○*2	○
	ブート画面、パニック画面	○*1*2	○
	CUI画面(OSコンソール)	○*1*2	○
	GUI画面(OSコンソール)	—	○
リモート コントロール機能 (LAN経由)	リモートからのリセット、パワーON/OFF、ダンプ機能	○	○
	電力ピークシフト(Power Capping)設定	○	○
	BIOS/BMC FWのアップデート機能	○	○
	リモートからのBIOS設定(一部の設定のみ)	○	○
	OSシャットダウン	○	○
	リモートメディア(CD/DVD、FD、フラッシュ)	—	○
	DMTF準拠CLP (Command Line Protocol)	○	○
	Webブラウザによる、リモートコントロール (複数ユーザ同時ログイン対応)	○	○
スケジュール運転 (UPS不要, ESM/PRO/SMが必要)	○	○	
保守機能	EXPRESSSCOPEプロファイルキー (BIOS/BMC設定情報のバックアップリストア機能)	○	○
その他	DNS/DHCPによるIPアドレスの自動設定	○	○
	LDAP/Active Directory認証/ユーザ管理	○	○
	本体装置のRTCとの時刻同期	○	○
	アクセスログ情報採取	○	○
業界標準	IPMIサポートVersion	2.0	2.0

*1 Windows OSの場合、SAC (Special Administration Console)を利用して実現。

*2 LAN経由での利用時に、オプションシリアルポートのバスを利用。UPSなど併用時は「RS232C内部ケーブル」の利用ができません。

◇ 補足事項

- ◆ H/W リモートKVM コンソール機能使用時、1280x1024の解像度では65,536色での表示となります。
- ◆ リモート端末のOS対応情報、ブラウザ推奨、その他の機能詳細については、EXPRESSSCOPEエンジン 3のユーザーズガイドを参照してください。

搭載可能スロット一覧 (－ : 搭載不可, ○ : 搭載可能)

○ 搭載可能

型名	製品名	PCI EXPRESS 2.0			PCI	備考
		PCIe 2.0 #1	PCIe 2.0 #2	PCIe 2.0 #3	PCI #4	
	PCIスロット性能	x4レーン	x4レーン	x16レーン	32bit/33MHz	
	スロットサイズ	Low Profile				
	PCIボードタイプ	x8ソケット	x8ソケット	x16ソケット	5V	
	搭載可能なボードサイズ	167.6mm以下 (MD2)				
BCP3506A	LANカード1000(2ch) (カード性能: PCI EXPRESS(x4))	○	○	○	-	LAN増設用 BCP3506AおよびオンボードLANとの Teaming(AFT/SFT/ALB相当機能)およびBondingをサポート。システムあたり最大2チーム、1チームあたり2ポートまで。
CBR3601A	RS-232C内部ケーブル	○	○	○	○	シリアル(RS-232C)ポート増設用

◆ Teaming, Bondingについて

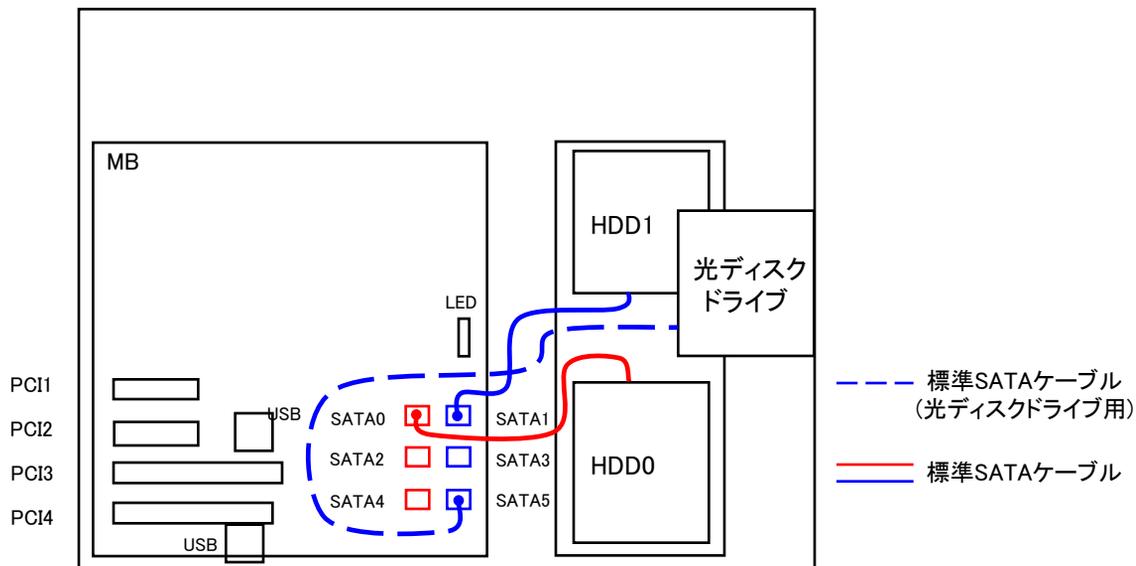
- ◆ 標準ネットワーク(オンボード同士): Teaming/Bonding可
- ◆ 標準ネットワークとBCP3506A: Teaming/Bonding可
- ◆ TeamingはAFT/SFT/ALB相当機能をサポート。Bondingはbalance-rr/active-ackup/balance-xor/broadcast/balance-tlb/balance-albモードでの動作検証を実施。Bondingは、複数のネットワークインターフェースを仮想的な単一のネットワークインターフェースとして扱い、負荷分散や耐障害性機能を提供します。

◆ 補足事項

- ◆ 製品名のかっこ内に記載されたカード性能とはカード自身が持つ最高動作性能です。
- ◆ 本体PCIスロットよりもPCIカードの動作性能のほうが高い場合は、本体PCIスロット性能で動作します。

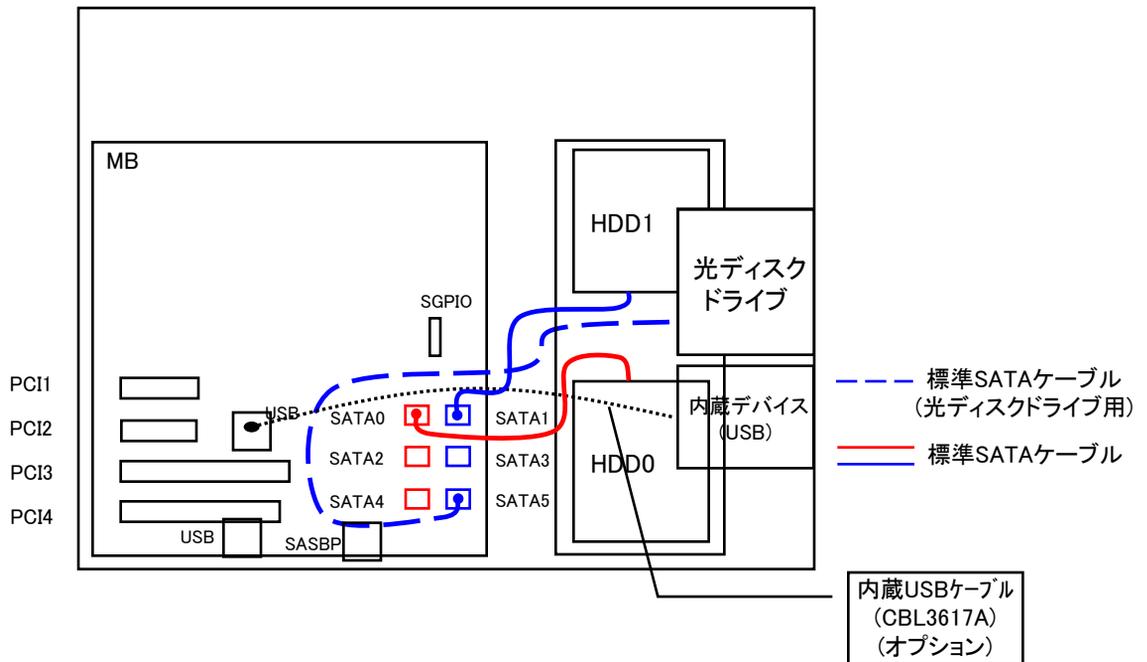
オプション機器増設イメージ

オンボードSATAコントローラーと3.5型HDDの接続



オプション機器増設イメージ

内部USBインターフェースと内蔵USB接続デバイスの接続



補足事項 <全般>

■ ハードディスク

- ハードディスクの容量表記は1GB=1000³B、1TB=1000⁴B換算値です。1GB=1024³B、1TB=1024⁴B換算のものとは表記上同容量でも、実容量は少なくなります。
- 総論理容量が2TB以上の場合、工場出荷時は論理容量2TBを上限とした論理ドライブを作成します。残りの容量については、別途RAIDコントローラーのユーティリティで論理ドライブを作成してください。

■ PCI拡張スロット

- PCI EXPRESSの転送速度について(片方向/1レーンあたり)
 - PCI EXPRESS (PCIe): 2.5Gb/s
 - PCI EXPRESS 2.0 (PCIe 2.0): 2.5Gb/sもしくは5Gb/s(#1, #2, #3スロット)
 - #3スロットの場合、PCIe 2.0対応し、x16レーンのため、最大転送帯域80Gbps(片方向)/レーンとなる。
- ソケットとは、コネクタのサイズを示す。
 - ソケットにはソケット数以下カードが接続可能
 - 例: x4ソケット → x1/x4カードは搭載可能。x8カードは搭載不可

■ 時計精度

- 低温または高温で保管すると、システム時計の時刻が現在時刻から大きくずれることがあります。システム時計に高い精度が求められるときには、タイムサーバー(NTPサーバー)の運用を推奨します。

■ 省エネ法(2011年度)に基づくエネルギー消費効率

- エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を省エネ法で定める複合理論性能(単位 ギガ演算)で除したものです。

■ EXPRESSBUILDER

- EXPRESSBUILDER (DVDメディア)には次のものが含まれています。
 - サーバー管理ソフトウェア: ESMPRO/ServerManager (Windows版), ESMPRO/ServerAgent
 - ユーザーズガイド 電子マニュアル
 - RAID管理ソフトウェア: Universal RAID Utility
 - 各種ドライバー

■ リカバリーメディア

- リカバリーメディア(DVD)には次のものが含まれています。
 - プレインストールイメージ
 - MAGNIA Storage Server 導入・運用ガイド(電子ファイル)

■ CPU

- 本サーバーに搭載されたプロセッサは次の機能に対応しています。

カテゴリ	正式名称	機能概要	プロセッサ
			Pentium G620
64ビット	インテル® 64	64ビット機能	○
省電力	拡張版 インテル SpeedStep® テクノロジー、 (インテル® デマンドベース・スイッチング)	CPUの負荷に応じて電圧/クロックを変更し消費電力を下げる技術	○
	電力制御(Power Capping)機能	BMC/ESMPROと連携して電力上限値を設定する機能	○
性能	インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー	動作周波数を上げる技術	×
	インテル® ハイパースレッディング・テクノロジー	一つのコアを2つのスレッドとして使う機能	×
仮想化	インテル® バーチャライゼーションテクノロジー	ハードウェア(CPU)による仮想化を支援する技術	○
セキュリティ	Execute Disable機能	バッファオーバーフローを悪用した不正プログラムの実行を防止する技術	○
	インテル® トラステッド・エグゼキューション・テクノロジー	本機能に対応しているOS、TPMチップなどと組み合わせてソフトウェアによる攻撃を防ぐ技術	×

補足事項 <メモリ>

■ 最大メモリ容量

- サーバーは、基本アーキテクチャ(x86アーキテクチャ)の仕様ならびにサポートするOSの仕様により、使用可能なメモリ容量が変わります。BTO出荷時に搭載できる最大容量は、OSまたは本装置がサポートする最大容量となります。

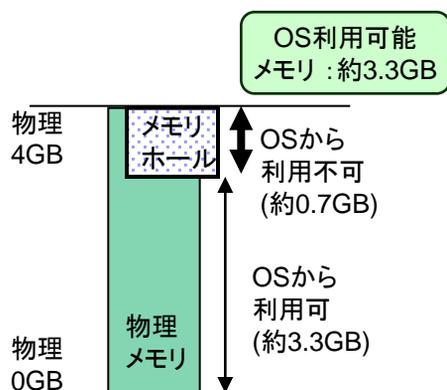
■ メモリホール

- x86アーキテクチャ(IA-32)は、「Memory Mapped I/O方式」を採用しており、各種I/Oデバイス(オンボードデバイスやPCI デバイスなど)の制御のために固定的にメモリ領域(メモリホール)を確保します。
- メモリホールは、搭載メモリの容量に関係なく、物理4GB 以下の一定のメモリ空間をHW予約空間として確保し、その空間はOSからは利用できないため、物理メモリ3GB～4GB搭載時はメモリホール分、実際に利用できるメモリが減少することがあります。

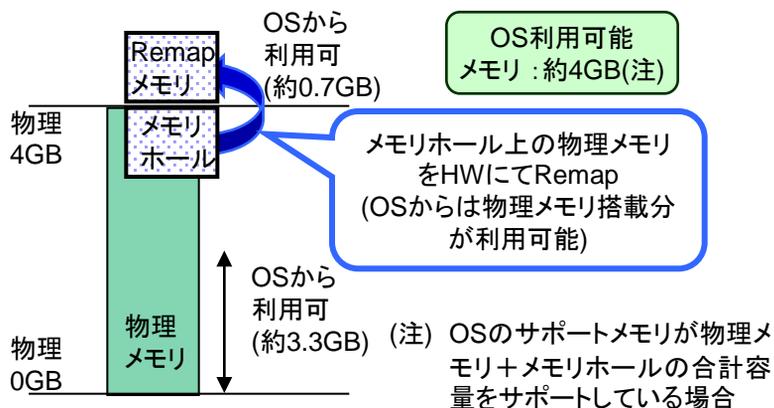
■ メモリホール補完機能 (Memory Reclaim機能)

- 本装置はメモリホールを補完するMemory Reclaim機能を標準搭載しています。
- Memory Reclaim機能はHW(チップセット)にて、メモリホール分の物理メモリのアドレスをremapすることで搭載物理メモリ容量すべてを利用することが可能となります。
- ただしOSのサポートメモリ容量によってはremapメモリ領域を利用できないことがありますので、サポートするOSにより利用可能なメモリ容量が変わります。

メモリホール(物理4GB搭載時の例)



Memory Reclaim機能 (物理4GB搭載時の例)



サポートOS	各OSがサポートする最大メモリ容量	本装置がサポートする最大メモリ容量
Microsoft Windows Storage Server 2008 R2 Workgroup (x64)	32GB	32GB

補足事項 <内蔵ドライブ(1)>**HDD接続/RAID構築にあたっての注意事項**

構成A	オンボードRAID (RAID 0/1)
-----	----------------------

◇ RAID構築にあたって

- ◆ 総論理容量が2TB以上の場合、工場出荷時は論理容量2TBを上限とした論理ドライブを作成します。残りの容量については、別途RAIDコントローラーのユーティリティで論理ドライブを作成してください。

◇ 構成A(オンボードRAID)

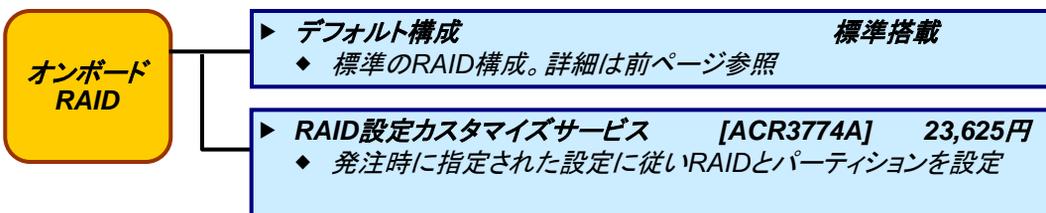
- ◆ 同一型名のHDDが2台搭載されると、自動的に構成Aに設定され出荷されます (BTO組込出荷時)
- ◆ オンボードRAID機能 (LSI Embedded MegaRAID)
 - ◆ マザーボード上のCPUを使ってRAID演算を行います。
 - ◆ BTO組込出荷のデフォルトRAID構成
 - ◆ HDD 2台: RAID 1

補足事項 <内蔵ドライブ(2)>

導入支援サービスの選択

- ◆ デフォルト構成でのRAID構成の詳細は、前ページの内蔵ドライブ補足事項を参照してください。
- ◆ C:ドライブのパーティションサイズは50GB(固定)です。
- ◆ デフォルト構成以外のRAIDを構築する場合は、RAID設定サービス・導入支援サービスを選択してください。

構成A用(オンボードRAID)



- ◆ 補足事項
 - ◆ ACS3774Aはシステム構成ガイド「導入支援サービス編」を参照してください。

補足事項 <フラッシュFDD>

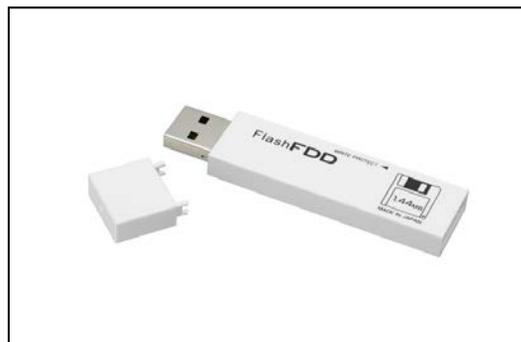
フラッシュFDD詳細

フラッシュFDDはフロッピーディスクドライブ相当の機能を有するUSBメモリスティック形状の製品です。ブートデバイスとして使用できる上、ドライバー不要で利用できます。さらにプラグアンドプレイにも対応しているため、サーバー本体装置のUSBポートに差し込むだけでフロッピーディスクドライブとして検出されます。*1

*1:サポートOSのみ

◇ フラッシュFDD (FDU3901A) 概要

- ◆ USB2.0対応FDDエミュレーション機能搭載USBフラッシュ
- ◆ スティックタイプ、FD代替品と判別できるように「FDアイコン／容量」を表記。
- ◆ 容量 1.44MB (FATフォーマット済)、FD媒体(2HD)1枚分相当
- ◆ ストラップホール(紛失防止)、ライトプロテクトスイッチ(書き込み防止)機能搭載



◇ フラッシュFDDが必要となる主な用途とケース

- ◆ 次の用途の場合はフラッシュFDDが必要になるケースがありますので、システム環境をご確認いただき必要に応じて手配してください。

主な用途	必要となるケース	備考
メンテナンス BIOSやファームウェアのアップデート	BIOSや各種ファームウェアをオフラインでアップデートする場合	現行モデルではCD/DVDIによるアップデートおよびオンラインアップデートツールに対応しているため不要
保守 ログ等の情報採取	オフラインでシステムイベントログや設定情報等を採取する場合	システムイベントログ(SEL)の場合はESMPROツールによりオンラインで採取可能なため不要